

2016年6月11日～(2泊3日) 奥秩父 甲武信ヶ岳

京都山の会例会参加  
参加者 = 9名

日程 = 2016年6月11日～13日(2泊3日)

\*アプローチ:

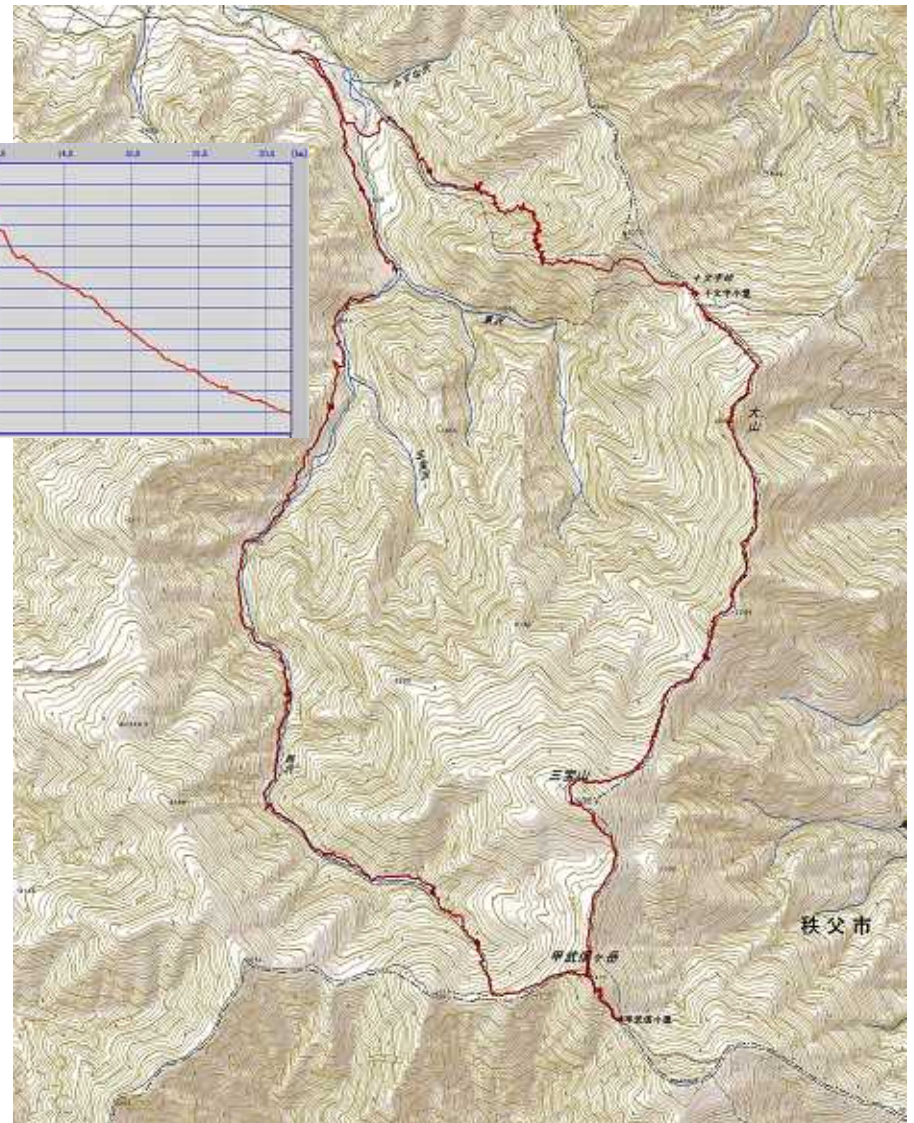
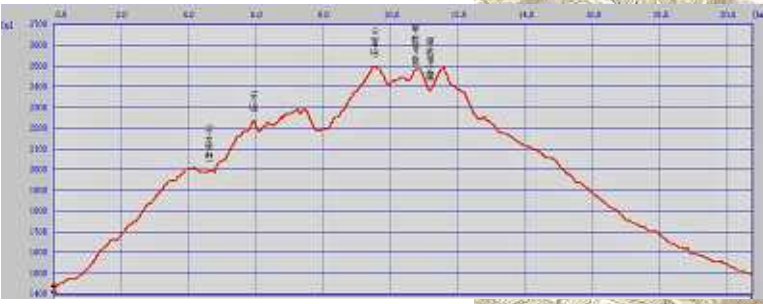
往路: 自宅 三条川端 京都東IC 長坂IC 野辺山 川上村 毛木平  
復路: 毛木平 JR信濃川上 小淵沢 塩尻 名古屋 京都 島本 自宅

コース: 毛木平 十文字峠 十文字小屋(泊) 大山 三宝山 甲武信ヶ岳  
甲武信小屋(泊) 甲武信ヶ岳 千曲川源流地点 毛木平

- ・1日目(6/11) コース距離 4.8 km、所要時間 2時間21分
- ・2日目(6/12) コース距離 6.7 km、所要時間 6時間55分
- ・3日目(6/13) コース距離 9.7 km、所要時間 4時間39分

コースタイム: ・1日目 毛木平(12:33) (12:53)一里観音 (14:07)八丁坂頭  
(14:45)十文字峠 (14:54)十文字小屋【泊】  
・2日目 十文字小屋(6:54) (8:02)大山 (9:53)武信白岩山 (10:13)尻岩  
(11:39)三宝山 (12:31)甲武信ヶ岳(13:32) (13:49)甲武信小屋【泊】  
・3日目 甲武信小屋(6:38) (7:00)甲武信ヶ岳 (7:25)分岐  
(7:43)源流地点 (9:15)ナメ滝 (10:10)大山純神社 (11:17)毛木平

山行軌跡  
と 行程グラフ



## \* 山行記

1日目： 駐車場手前の林道脇に車が数多く停められているが駐車場に入り空きスペースを見つけて予想より早く12時過ぎに毛木平に到着する。

登山準備を済ませて12時33分毛木平駐車場左奥の登山道に入り歩き始め分岐で十文字峠方面へ、しばらくすると一里観音が有ったがガイドブックでは五里観音となっていた。

今日は土曜日であるが下山される方と多くすれ違いながら八丁坂を登って行く、天候は思っていた以上に良く曇り空から日が差して汗だくで登って行く。

八丁坂頭から稜線に出て尾根を登って行く、石楠花の木が出てくると十文字峠で有るが花はほとんど落下している、今年は5月中旬より満開となって盛りが過ぎてしまっている。

14時45分十文字峠で少しだけ残っている石楠花の花を観て小屋に到着する。

2日目：

朝起きだして15分掛けて展望所に行って見る、昨日も行った時よりは展望は良いが写真にすると写りにくさは変わらない。

小屋で朝食を済ませて、6時54分十文字小屋を後に甲武信ヶ岳を目指す昨日よりかは石楠花が少し多く咲いている登山道を登って行くと尾根道になる、鎖場を登ると岩場の大地より40度方向に瘤を並べた山並みが見える両神山かどうかは判らないが、すぐに大山山頂に到着する。

大山山頂からは八ヶ岳などが展望できるが金峰山と瑞牆山は手前の山で隠れて見えないが、霞が掛かって写真には写りにくい。

針葉樹林を通り石楠花も残り少ない花を咲かせている、何度かのピークを越えて行くと急峻な岩山が出てくる、武信白岩山で巻道を通って鞍部に出ると大きな尻岩にでる。

尻岩からは長い登りが続き一等三角点がある三宝山に到着するが灌木に囲まれて展望は望めないが樹海の向こうに甲武信ヶ岳が見える。

一度下りまた登り返す登山道でアップダウンを繰り返しガレを登ると大きなケルンが立った甲武信ヶ岳山頂に12時31分到着する、山頂は展望に恵まれて富士山も見えるがここでも写真には写らない状況であった。

山頂で展望を満喫して南側の急な登山道を下り宿泊地の甲武信小屋に13時49分到着する、今日は宿泊客は少なそうである。

時間が有ったので荒川の源流地が有るとの事で見に行く事に、15分ほど下ってやっと辿り着く谷筋に水が流れているが水量が多く上からも水が流れてきているが水源地標が立っていた。

3日目：

昨日の夜から雨が降り出し日が変わると一段と雨足が強くなっていたが明け方は小雨に変わってきていた。

寝ている時に車のキーをズボンのポケットからザックに移そうと思って起きてズボンを確認し車のキーが入っていない事に気付く小屋のオーナーに十文字小屋に落とし忘れた可能性が有ることを話す但し十文字には誰も居ないとの事。

車のキーもさることながら小屋を占める事に違和感を覚える縦走をしていて泊まる小屋が締まっていればと思うと？、今はそのような山歩きは出来ないが。

もう一度持ち物を調べなおしたが車のキーは出てこない、小屋のオーナーが十文字小屋に行って探して下ると言って貰って予定通り千曲川源流のコースを下ることになる。

雨の降る中 6時38分甲武信小屋を後に甲武信ヶ岳へ登り返し山頂より西へ下山する、樹林帯に入り分岐から右に急坂を下って苔むす道を行くと木柱の立つ信濃川・千曲川源流地に出て立ち寄る。

昨日の荒川源流地と違いここから水が湧き出している、それぞれ水を飲んだり汲んだりして歩き始める、水源地から次第に水量が増してくる川を徒渉を繰り返しながら下り沢を離れ

山腹を行くと枝沢に下るとナメ滝に出る。

ナメ滝からまた川を離れるがまた西沢沿いに下って行くと東沢と合流する、しばらく進むと左に大山純神社をみて林道を下って分岐を越えると11時17分毛木平に降り着く、まだ小屋のオーナーは到着されていない。

東屋で合羽を仕舞い帰り支度をしていると小屋のオーナーが到着され車のキーは見つけられなかったと聞かされる、私の車に乗ったメンバーは電車で帰途することとなりオーナーの車で駅まで送ってもらって駅前で食事をしてから帰途する。



毛木平駐車場



一里観音



十文字峠へ徒渉



十文字峠への登り



石楠花



美しい森



カモシカ展望台より(左:大山



右:三宝山)



カモシカ展望台より



十文字小屋にて



石楠花



石楠花の登山道





大山への登り



両神山方面



大山山頂



スケッチ

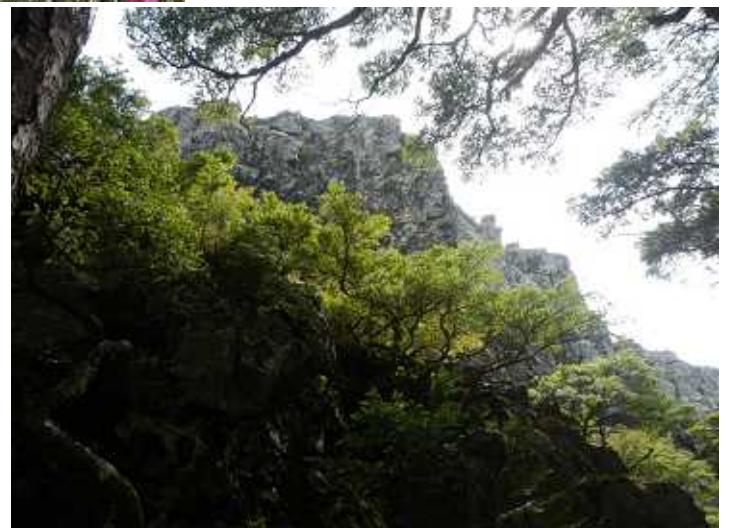


大山からのパノラマ

武信白岩山への道中



武信白岩山





尻岩



三宝山へ



三宝山の一等三角点



富士山遠望

左: 甲武信ヶ岳山頂



甲武信ヶ岳山頂



八ヶ岳方面(肉眼では見えるが)



甲武信小屋



荒川源流地



甲武信ヶ岳へ登り返し



源流への分岐



千曲川・信濃川の源流地



苔むしる登山道脇



ナメ滝



大山純神社

白化粧いわく紅化粧